

大会運営規定

- 1 各チームとも試合開始1時間前までに集合すること。なお、第2試合以降の試合開始時刻は、前の試合の進行により前後することがある。
- 2 ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
- 3 試合中ダッグアウトに入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ2名以内、登録選手、マネージャー、スコアラーの31名以内とするが、本大会は上記以外に熱中症対策として、選手の水分補給を目的にチーム関係者(男女を問わないが成人であること。)2名のベンチ入りを認める。ただし、応援に係わる行為は禁止とし、応援行為を行った場合はベンチから除く。
- 4 試合前のシートノックは5分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。ただし、悪天候等の理由によりシートノックを行わないで試合をすることがある。
- 5 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。
- 6 バットリング、マスコットバットは使用しない。
- 7 熱中症予防のため、3回終了時及びイニングの守りの時間が20分以上継続した場合は、5分間の給水タイムを行う。なお、給水タイムの時間は、試合時間に含まないものとする。
- 8 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - (1) 投手が投球できる数を1日70球(4年生以下は60球)以内とする。ただし、投球中に70球に達した場合は、その打者の完了か攻守交代までとする。
 - (2) 同一日に2試合を行う場合、1試合目の投球数を本部で確認すること。
- 9 打順表は、第1試合のチームは試合開始40分前に、第2試合以降のチームは前の試合の2回終了後に、大会本部に5部提出すること。
- 10 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、また捕手は捕手用ヘルメット・マスク・プロテクター・レグガード・ファウルカップを必ず着用すること。なお、捕手用マスクはスロートガード付きのものを使用すること。
- 11 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
- 12 本規定にない事項及び明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。
- 13 最終試合となったチームは、試合終了後、ダッグアウトの清掃を行うこと。